

## 活用の手引き

校種（小学校）	学年（１）年	教科名（算数）
1 単元・教材名	あわせていくつ ふえるといくつ	
2 指導目標	たし算の式を知り、たし算の式に書いて答えを求めることができる。	
3 ICT活用のポイント	授業場所 コンピュータ室 普通教室 その他（ ） 授業形態 一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 ICTを活用する場面 導入 展開 まとめ その他（ ） ICTを主に活用するもの 教員 児童・生徒 ICTを活用する目的 課題の提示 動機付け 教員の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 体験の想起 比較 振り返り その他（ ）	
4 授業の流れ	<b>【導入】</b> 数図ブロックを操作し、合併の場面を理解する。 <b>【展開１】</b> たし算の式に書き、その式の意味について理解するとともに、用語「しき」や記号「+、=」をしる。（ICT教材の活用） <b>【展開２】</b> 学習場面を式に書く。（ICT教材の活用） <b>【まとめ】</b> 練習問題をする。	
5 成果と課題	たし算の「式」がはじめて指導される場面であることから、数図ブロックの操作をたし算の式に結び付けて、式の意味を理解させることができた。適用問題もあるので復習でも使える。	
6 指導のポイント	「+」「=」が何を表しているのか考えさせるために、問題の場面や式を見て、対応する数図ブロックを操作を何度も行い、「+」「=」の意味を理解させたい。	